

令和6年度 富中教育ビジョン

1 校訓

「友愛」「自律」「互敬」「互譲」

2. 重点教育目標

～ 今を生き、未来を創る ～

私たちの幸せ(Well-being)のために

自ら考え選択し、責任をもって行動できる生徒の育成

3. めざす学校像

勇気と力が湧いてくる「エンパワメント富田」

※「エンパワメント」とは

「人は誰でも、一人一人が力を持つ存在だ」と信じ、夢や希望をもって、本来持つ力を発揮できるよう勇気づけていくアプローチ



学校は

「一人一人が本来もつ力を安心して発揮できる」ところ

「その場にいるだけで心が温まり、勇気が湧いてくる」ところ

「やってみよう!を大事に、新たな可能性にチャレンジできる」ところ

「誰もが思いっきり成長していける」ところ

「ピンチや失敗をも糧にして、学びのチャンスに変えていける」ところ

「うれしいときも辛いときも、必ずつながる仲間や教職員がいる」ところ

そして…

「生徒も教職員も、保護者や地域の方々も、みんなが幸せになれる」ところ

「みんなで未来の幸せをつかっていける」ところ

そんな、「エンパワメントな富田中学校」をめざします!

4. スクール・モットー

3Cを意識しよう!

Chance (チャンス) ……今、この時をどんなチャンスと考える?

Challenge (チャレンジ) ……具体的にどんな挑戦をしたい?

Change (チェンジ) ……やってみてどんな気づき・成長があった?

幸せ(Well-being) ウェルビーイングとは?

身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的で感情状態の幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念です。OECD(経済開発機構)の「Learning Compass」に、世界共通の教育目標として掲げられました。「第4期教育振興基本計画」にも位置づけられています。

5 めざす生徒像(身につけたい力)

私たちの「^{ウェルビーイング}幸せ」(Well-being)のために、

- ・自他の「**選択・決定**」や考え方の違い、**多様性**を尊重します。(自他を尊重する力)
- ・自分らしい**生き方や可能性**を求めて**挑戦**します。(チャレンジする力)
- ・課題に気づき、自ら考え**選択し、責任**をもって**行動**します。(課題解決する力)
- ・**対話**を通して**仲間と協働**し、共に**ゴール(目的)**へ向かいます。(対話・協働する力)
- ・困難や失敗も糧にできる、**しなやかな柔軟性**と心の**回復力**があります。(レジリエンス力)

6 めざす教職員像(本気の心構え)

生徒の「^{ウェルビーイング}幸せ」(Well-being)のために、

- ・一人一人が**本来持っている力を信じ**、**可能性を発見**し伸ばします。
- ・SOSを見逃さず、**迅速に問題解決**と心のケアに**チーム**で取り組みます。
- ・自ら**人権感覚**と**技術**を磨き、**人間力・教師力**を高めます。
- ・「**やりがい**」と「**使命感**」を持ち、**学校経営の当事者**だと**自覚**しています。
- ・自分と**家族・保護者**や**地域の方々**・他の教職員の「^{ウェルビーイング}幸せ」(Well-being)を**大事**にします。

7 本年度の研究テーマ

課題解決力の育成

～聴き合い、認め合い、温め合う「対話」を通して～

(1) **「生徒も教職員もみんなでファシリテーターになろう！」プロジェクト2**

- ・ **ファシリテーション×ICT (R6 教育 DX 推進事業)**
- ・ 互いを尊重した**安心・安全な対話**の場づくり (**ホワイトボード・ミーティング®**を活用)

ファシリテーターとは？

一人一人の意見を生かし、合意形成や課題解決を進める話し合いの進行役。人が本来持つ力を引き出し、「対話」でチームワークを育み、共にゴールをめざします。

- (2) 「**自己選択・自己決定**」の場面や「**対話**」を教育活動全体に積極的に導入します。
- (3) 生徒も教職員も、チームで協働して解決の糸口を探り、「**乗り越えた**」「**解決できた**」という**体験**を積み重ねていきます。
- (4) **ICT** を活用した**意見の可視化**や**共有**を効果的に取り入れ、プレゼンの工夫等、表現方法についても学びます。

◆課題解決のための5つの要素◆

- ①課題発見(課題として気づき捉える力)
- ②協働(目的を同じにして協力する力)
- ③情報収集(必要な情報を集める力)
- ④対話(聴き合い話し合う力)
- ⑤表現(分かりやすく伝える力)

富中教職員一人一人が、それぞれの持ち場で
生徒も、教職員も、みんなが「^{ウェルビーイング}幸せ」(Well-being)になれる
そんな学校づくりにチャレンジします！

～Try and Error～

今こそチャレンジの時 まずやってみよう！

※Try and Error(トライ アンド エラー)=挑戦して失敗・反省を繰り返しながら、あきらめず
に目標に向かって進むこと

❖「幸せ」をつくる4つのキーワード❖

「やってみよう」 (チャレンジと成長)

「ありがとう」 (つながりと感謝)

「なんとかなる」 (前向きに切りかえ)

「ありのままに」 (自分らしさを大切に)



ウェルビーイング

みんなで「幸せ」(Well-being)な学校をつくろう！